

TAMPOPPO

会長挨拶

第3代会長 庄司 諒



同窓生のみなさん、会長の庄司です。今年度も無事たんぽぽを発行することができました。たんぽぽ発行に尽力してくださった執行部のみなさんには感謝しています。さて、同窓会も新たに19回生を迎え、会員数はついに5000人を突破しました。5000人も同窓生がいると様々な分野で活躍されている方も多いと思います。執行部内に目を向けても学生や会社員、教員など様々な立場のメンバーが同じ目標に向かって活動を行っています。社会人になると仕事以外で交友関係を築く機会がなかなかないので、同窓会執行部の活動というのは貴重な場であると思います。執行部に直接参加しなくても同窓会懇親会の場でも同窓生同士で交流することができます。年々参加者も増えていますので、次回の懇親会にぜひ参加してはいかがでしょうか。

現在のところ同窓生が交流できる場というのは年に一度の同窓会懇親会のみですが、今後同窓生が交流できる機会を増やしていきたいと考えています。そのためにも今年も同窓会の応援をよろしく願います。

校長挨拶

第9代校長 伊東 玲子



平成27年4月に、宮城野高等学校第9代校長として赴任いたしました伊東玲子です。

本校に赴任し、1年3ヶ月となりました。以前より、他校では考えられない、校訓も校則も部活動も制服もない学校として知ってはおりましたが、いざ教職員の一員として学校運営に携わっていく立場となると、知っていたつもりでもわからないことだらけの1年間が過ぎました。

本校は、創立22年目となり、学校としては成人式を過ぎたところと言えます。新たな第一歩としての取り組みを、創立以来貫かれた教育理念をふまえながら、模索しているところです。

同窓会については、まだまだ充実しているとは言い難いかもしれませんが、2年に1回、学校で開催していた総会を、平成25年より外部の会場で毎年開催することとなりました。平成27年も9月5日ホテル白萩において、多くの同窓生の皆様と先生方にお集まりいただき開催することができました。外部の会場で開催した3回目でしたが、和気藹々と思い出話や今だから話せる話、宮城野あるあるなど楽しい時間を過ごすことができました。

同窓会というのは、同じ高等学校を巣立った卒業生同士が、世代を超えて、つながり、語り、社会人として活躍している報告を行いながら、また新たなつながりを得ることができる場であると考えます。高校生という多感な年代を、同じ学び舎で過ごし、同じ校歌を歌った者たちだけが共有することができ、お互いの成長を確認できる場でありたいと考えています。

宮城野高校の同窓会が、今後、より一層発展し充実していくことを、心から祈念いたしております。

同窓会入会式

18 回生、19 回生が同窓会に入会しました。ホーム幹事は18 回生23 名、19 回生22 名。19 回生ホーム幹事顔合わせでは息の合った掛け合いが見られ、順調に役割分担が進められました。その親密性を同窓会でも発揮し、楽しく活動してくれることを願います。

27 年度同窓会入会式には前年に卒業したばかりの18 回生も早速運営に携わり、進行側の18 回生、19 回生の代表者共に緊張しながらも終始和やかな雰囲気の入会式になりました。

徐々に歴史を深める宮城野、新たな仲間を迎え同窓会はまだまだ発展していきます。

(吉田瑞生)



18回生 ホーム幹事

ホーム	幹事氏名(★印…常任幹事)			
31H	イマガワ 3102 今川くるみ	タカハシ 3126 高橋 美里	ミサト ★3128 武田みのり	タケダ 3128 武田みのり
32H	アイハラ 3202 相原 玲奈	アンカイ 3204 安海菜々子	オナコ 3221 高橋 凜也	コウヤ 3221 高橋 凜也
	タカハシ 3222 高橋 典広	ヨコタ 3239 横田 遥香	ハルカ 3239 横田 遥香	ハルカ 3239 横田 遥香
33H	エンドウ 3305 遠藤真亜樹	★3311 岡田	イツセイ 3314 鎌田 健吾	カマタ 3314 鎌田 健吾
34H	アベ 3401 阿部菜々子	ナナコ 3412 木血 沙南	キサラ 3412 木血 沙南	サナ 3412 木血 沙南
35H	オノテラ 3512 小野寺 優	ゴウ 3517 郷 大樹	ダイキ 3522 櫻井 ヒロト	サクライ 3522 櫻井 ヒロト
	ササキ 3523 佐々木将人	チバ 3532 千葉 洋靖	ヒロヤス 3532 千葉 洋靖	ヒロヤス 3532 千葉 洋靖
36H	★3611 鎌田 航平	ユサ 3634 遊佐	ナツミ 3636 吉田 瑞生	ヨシダ 3636 吉田 瑞生
37H	ヤマダ 3736 山田 葵	ヨシダ 3738 吉田 実遊	ミユウ 3738 吉田 実遊	ミユウ 3738 吉田 実遊

19回生 ホーム幹事

ホーム	幹事氏名(★印…常任幹事)			
31H	★3137 ホリ 堀 美雪	ミユキ 3137 堀 美雪	スズキ 3222 鈴木 海斗	カイト 3223 竹内 海渡
32H	3202 アネヤナギ 青柳 朱音	スズキ 3222 鈴木 海斗	カイト 3223 竹内 海渡	カイト 3223 竹内 海渡
	3231 ヒガシ 東 すみれ	ヤマダ 3235 大和 加奈	カナ 3235 大和 加奈	カナ 3235 大和 加奈
33H	★3312 カワムラ 川村千紗都	チサト 3335 村尾 雄斗	ムラオ 3335 村尾 雄斗	ユウト 3335 村尾 雄斗
34H	3402 オイカワ 及川 愛	アイ 3407 小畑 旬翠	オノヅ 3409 加藤 健太	ケンタ 3409 加藤 健太
	3422 サトウ 佐藤 大輝	ダイキ 3422 佐藤 大輝	ダイキ 3422 佐藤 大輝	ダイキ 3422 佐藤 大輝
35H	3512 コセキ 古閑沙也香	サヤカ 3522 高橋 彩望	タカハシ 3522 高橋 彩望	アミ 3522 高橋 彩望
	3539 ヨシダ 吉田 侑生	ユウイ 3539 吉田 侑生	ユウイ 3539 吉田 侑生	ユウイ 3539 吉田 侑生
36H	3602 アカツ 赤津 孟	ハジメ 3623 佐藤 奏太	サトウ 3628 大久有紀子	ダイキョウ 3628 大久有紀子
	3633 ヲダ 戸田 成美	トダ 3633 戸田 成美	トダ 3633 戸田 成美	トダ 3633 戸田 成美
37H	3711 カネダ 金田 玄	ハジメ 3713 菊地 充	キクヂ 3731 寺嶋 俊亮	ミツル 3731 寺嶋 俊亮

文化祭出展

平成27年度の文化的行事において、宮城野高校同窓会は新幹事(18回生)の定着と活動の経験を狙いとして、18回生が主体となって企画を行う方針をとった。「当日せっかく凝った衣装をしても、混雑のために落ち着いて自分たちの衣装を撮影できる空間がなかなかなかった」という在学中の経験をふまえ、当日は物理室の一角を利用してもらい、簡易ではあるが撮影ブースの設置と、並行して過去の卒業生たちの衣装写真の展示を行った。数名の心優しい在校生が展示に訪れてくれて、青春の一幕を写真に収めていった。また、過去の写真を興味深そうに眺める人の姿や、同窓生どうしの間で会話が弾む光景も見られた。祭りの主役である在校生ではない、同窓生という立場で参加した文化祭は前年までとはまた違った景色が見えて、自分は今もう卒業生なのだということを改めて感じる機会となった。

(鎌田航平)



同窓会で活動を支援した「盆ROCK」について紹介します。

盆ROCKは、宮城野高校OB、OGがダンス、バンド、ファッションショーを披露するイベントです。

高校卒業後、「高校の頃に戻りたい」という声を聞いたことをきっかけに、卒業生同士との交流等を目的として2014年8月に第一回目を開催し、翌年同月に同窓会の支援を受け第二回を開催しました。その際に「高校生に戻ったような気分になれて楽しかった」などの声をもらうことができ、当初の目標を達成することができました。

年に一回のイベントとしてこの先も継続して開催することで、つながりを作っていく場になることが理想です。しかし、まだまだ始まったばかりと云うことで課題も多くありますが温かく見守って頂ければと思います。是非お盆に時間がありませんでしたら、お立ち寄りください。



平成27年度 同窓会総会報告



2013年より継続開催3年目となる同窓会総会。今回から懇親会の幹事学年を決め更なる動員を、1回生と16回生を幹事と定め開催しました。まず、幹事学年は多くの参加を、そして目指せ昨年比14倍！で幹事会メンバーからの口コミを中心に、Facebookでの準備状況の継続発信なども行いました。しかし開催1ヶ月前に迫る時期、まだ足りない・・・というところで、最終的には総務部の藤原先生から旧職員の多くの先生方への参加呼びかけ、さらにはその先生方から縁のある同窓生への呼びかけの輪を広げて頂きました。

そして、2015年9月5日、ホテル白萩にて、平成27年度同窓会総会及び懇親会を行いました。晴天に恵まれ暑さが残る中、おかげ様でほぼ目標の人数が集まった盛大な会となりました。

今年度より再び旧職員の先生方にもお声がけさせていただき、なつかしの顔があちこちに見られる中で、昨年度の事業・会計・監査報告、今年度の事業計画及び予算案、予備費の特別会計への積み立てなど、すべての議題にて承認をいただきました。

質疑では「(東京などの)支部活動はしているのか」という質問もありましたが、宮城野高校の同

窓会活動は同窓会総会・懇親会の開催および会報発行という基盤の部分以上になかなか手が回っていない状況です。そのような中で同窓会総会・懇親会の安定運営を目指し、幹事学年を決めて臨んだ初年でしたが、多くの同窓生・先生方の「縁」の力で幹事学年を中心に昨年度よりもさらに賑やかになったことは大きいと思います。しかし、回生によって参加のばらつきがあるなど、多くの方の動員を継続させるにはまだ課題があります。

特に古い回生!?!の皆さんは30代に差し掛かり、仕事をしている方も家庭を守る方も最も忙しい時期だと思います。(自分も仕事と子育てに追われる日々です)。そんな時期だからこそ、一回り違う同窓生と会話し刺激を得たり、今の宮城野の様子を知ったり、もちろんなつかしの同期との旧交を温めたり、先生方との会話から生き方のヒントを得たり・・・宮城野の同窓会総会・懇親会は貴重な場になると思います。

今年も昨年と同時期、9月3日の開催です！幹事学年の2回生、17回生を中心に、多くの同窓生が集まってくれることを今年も期待して、準備を進めております。

同窓会活動の地を固めるには、

総会・懇親会への多くの方の参加継続が必要と感じています。何とか、何とか幹事学年の多くの動員を！と思いつながら、当日まで・・・。

(笹川直子)



平成27年度 同窓会懇親会報告



今年度も総会に引き続き開催された懇親会には、前年度を超える人数の同窓生と、伊東玲子校長先生をはじめとする宮城野高校の現・旧職員の先生方が集まりました。

今年度から、余興で行う出し物を離れた二つの回生が協力して計画を立てるという新しい取り組みが始まりました。第一回目は一回生と私たち十六回生が担当させていただき、宮城野高校の今と昔を比べてみるクイズとスライドショーを行いました。クイズでは場所を問うものからどこの窓か当てるというマニアックな問題までありましたが、中でも途中から新設された選択教室の写真が出てきたときは、上の回生の方々から「すごい！ここで授業を受けてみたかった！」などといった声があがりました。また、スライドショーでは校舎の周りに植えられた木の成長や、田んぼだらけだった風景から新しい住宅地に囲まれた現在の景色に変わったことに驚かれる方が多くいらっしゃいました。まだまだ若い宮城野高校の歴史ですが、この余興を通してその中で起きた数々の出来事について、回生を越えて話に花を咲かせる様子が見られました。

最後に、恒例となった参加者全員での校歌合唱を行いました。卒業式で歌ってからもない人いれば、何年も歌ってなかったという人など皆さんバラバラでしたが、いざ歌い始めると、懐かしい宮城野高校での思い出がよみがえり、綺麗なハーモニーが会場に響き渡りました。先にも話した通り、懇親会の企画を各回生が持ち回りで担当していくことになり、次回の担当は二回生と十七回生になっています。担当の回生ではない方も、懐かしい仲間や先生方との再会や、新しい出会いがたくさんある場ですので、ぜひ足を運んでいただけたらと思います。また、今回参加された方も来年度の懇親会がさらに盛り上がるよう、宮城野高校の仲間を誘っていただけたらと思います。ぜひ会場でお会いしましょう！

(吉澤 和)



懇親会企画 座談会



前回の懇親会から企画運営は持ち回りで行うこととなった。そこで、今後も継続的に行うべく第1回目の担当1・16回生から今年担当の2・17回生へのアドバイスも兼ねた座談会を企画してみた。2016年2月27日に行われたその一端を紹介する。

(参加者1回生：笹川直子、16回生：吉澤和、2回生：柴田久美子、17回生：相澤梨沙、岡本莉奈、鈴木一平 司会15回生：加藤咲)

加藤：前回の懇親会の企画の説明を軽くお願いします。

吉澤：企画を2つ用意しました。1つは宮城野のマニアックな写真や昔の写真を用意して場所を当てるクイズです。もう1つは写真のスライドショーです。1回生の卒業アルバムに載っている写真と今の風景を比較して楽しんでもらうというものでした。

加藤：来場者の反応はどうでした？

吉澤：参加者の層が上の回生が多いので「ああ、懐かしい」「今こんな風になっているんだ」というような感じでした。なかには下の回生には当たり前前の存在の選択教室が昔はペラペラだったとか、皆がそれぞれ「えー」と違う意味で驚いていました。

加藤：そういう反応は良いですね。企画自体はどんなスケジュールで動いていたの？

吉澤：今回中心となって動いた私たちは普段の幹事会にも出席しているので7月の文化祭頃に草案が出来上がって、8月に1回高校に来て、1回生の笹川さん達と集まって必要な写真を撮ったり卒業アルバムからスキャンしたりしました。幹事会以外で集まったのはその1回くらいで、あとは各自作業でした。だから準備期間は1か月強くらいでした。

加藤：離れた回生と一緒にやるというのはどういう感じでしたか？

吉澤：やっぱり緊張しますよね。特に連絡のタイミングには気を遣いました。大学生は夏休みだったりしますけど社会人はお仕事なさっているので、平日の昼間は避けようかな「土日空きいているとは限らない」とかありましたね。でも、自分たちの知らないことをいっぱい聞けるのは面白かったです。

笹川：15歳差というのがちょっと仕事の場面だと新人さん世代なんですよね。その世代がどういう感じ方をするんだろうという点

では新鮮な機会でした。あと、私たち1回生にとっては16回生の存在はすごく助かりました。仕事がちょっと脂ののつてくる時期だったり、子育て世代だったりしてどうしてもまともに動けるのは当日だけということもあって、16回生が中心になって準備してくれました。

加藤：持ち回り制の1発目を自分たちがやるということについてはどうでしたか？

吉澤：16回生は例年懇親会の参加者が少なくてどうしようかと思いました。SNSを使って「懇親会の担当が16回生に決まったので、当日来られなくてもお手伝いできませんか？」って聞いて、写真送ってもらったり、スライドショーを作ってもらったりというお手伝いしてもらいました。

笹川：1回生としては16回生に準備で助けてもらった分、人集めを精力的にやっていたね。草の根活動と旧職員の先生方の力も借りて最終的には参加して盛り上げるくらいの人数は集められたかなと思います。

加藤：総じて懇親会企画の評価をするとうでしたか？

笹川：理想としてはその回生だけで色々運営することだと思っんですけどなかなかそうもいかなくて、もう少し準備段階から人が集まると当日も参加者が増えるんじゃないかなと思います。

吉澤：実際呼びかけてみると懇親会がどんなものかイメージを掴めない、いろんな世代の方がいるということで気楽には行けないという雰囲気があるという感じなんですよね。緊張するのはわかるんですけど、参加してよかったなと思える場なのでほとんど来てほしいと思うんですが、呼びかけとか周知とかが難しいなと思います。

加藤：準備にしても当日にしても人集めが課題ということですね。

笹川：今年はまだ日程が決まっているから身近な人だけにでも今から繰り返し発信しておく必要なんです。案内状が届いてからだともう予定が埋まっている人もいられるわけですね。

吉澤：あと、「役員じゃなくても行けるの？」って結構聞くんですよ。だから、「いろんな人がいる楽しい飲み会だよ」というのが伝わる方がいいですね。

加藤：では最後に経験者としてのアドバイスのようなものをお願いします。

吉澤：やっぱり人集めですね。今は連絡手段としていろいろツールがあるので根気強く参加を促すことや、「準備だけでも」とか「当日だけでも」とか「企画の発想だけでも」とか送って、とにかくかかわってくれる人を増やすといいと思う。

笹川：そうですね。人が集まればなんとかなる面もあるし、少しずつでもかかわる人が増えていけばさらに次の年へとつながっていきますからね。

加藤：ということですが、2・17回生の皆さん、イメージは湧きそうですか？

17回生：うーん。緊張しちゃうなあ。
加藤：そんなに構えなくてもいいよ。必要に応じて同窓会役員もお手伝いします。2回生は柴田さん中心ということですか？

柴田：そうですね。ただ、前回出席したのが2人しかいなかったのでもちよっと敵しいなとは思っています。でも、さっきのお話にあったようにSNS等で担当学年ということとを情報発信して少しでもかかわる人を募れたらいいよねという話をしていました。

加藤：まだまだ始まったばかりの仕組みです。いろいろな課題も多いというのが現状です。今年度の懇親会は9月3日(土)にホテル白萩にて行われます。時間は大体夕方からです。よろしくお願いします。

同窓生として、教員として

佐藤 佳奈 6回生

昨年度から、母校の宮城野高校で美術（日本画専攻）を担当しています。現在は美術科の21Hの担任として、毎日充実した日々を送っています。

本校在学時は、先生方や友人に恵まれ、本当にかげがえのない日々を送ることができました。まさかこのような形で母校に戻ってこれるとは思っていませんでしたので、とても幸運なことだと日々感じています。

また、学生の頃には分からなかった、先生方の支えの大きさを、教員という立場に身を置くことで、実感することが沢山あります。

現在は日本画を教えています。生徒たちの瑞々しい感性や、ひたむきな姿に、刺激を受け、学ぶことが沢山あります。高校生の頃の自分を振り返りながら、変化し続ける母校のために、今の自分にできることを精一杯やっていきたいと思っています。



※佐藤佳奈先生には宮城野高校同窓会事務局の先生としても同窓会活動を支援いただいています。



表紙作者紹介

高橋 紘恵

(たかはし ひろえ)

プロフィール

宮城野高校美術科1999年卒業(2回生)。
主専攻:日本画。
高校卒業後も仕事をしながら積極的に作品制作を続けている。2011年、宮城野同窓生有志イベント『繋ぐ』にも作品協力。フランス・パリに数ヶ月滞在して作品を制作するなど現在もペン画を中心とした作品制作を行っている。

表紙絵について

「続き」というイメージで描きました。「色んな事が繋がって、続いて来た、続いて行く」というような思いです。

同窓生の声

宮城・鳴子に 戻ってきました

2回生 加賀 道

陸羽東線〜新幹線〜仙石線を乗り継いで片道2時間半弱、鳴子温泉から宮城野高校へ通っていました。お弁当を作ってくれていた母を含め、よくも通ったものだと思います。

私は、幼いころから外の世界への関心が強く、その入り口として宮城野高校があったように思います。新設校ができたこと知り、迷うことなく入学を希望したのを覚えています。何もかも新しく自由な学校は、憧れの眩しい場所でした。素晴らしい先生や各地から集まってきた友と出会えたことは自分のかけがえない財産になっています。「自由」で強制されることがない環境は、自分で夢中になれるものを見つけないと何も残らない厳しさもあったように思います。実際、私の記憶も鮮明でない部分が多々ありますが、友達と過ごしたお昼休み、先生の授業が面白く夢中になって勉強した科目、図書館で将

来の夢を膨らませていた時間など、自分で主体的に動いていた時間のことによく覚えています。

高校卒業と同時に宮城を離れ、東京の大学へ進学、留学や仕事で海外を回り、夢だった外の世界を知る機会に恵まれました。知らない世界を知れば知るほど、育ったまちの魅力に気が付き、昨年、夫と子ども、義母と共に、17年ぶりに鳴子にUターンし、私の両親も含めての大家族生活を送っています。木工作家の夫は、鳴子のシンボルである「こけし」をモチーフにした面白雑貨を作っています(関心のある方は是非「カガモク」で検索してみてくださいくださいね)。私も、地域の人と鳴子を訪れるさまざまな人をつなぐような「場」を作るべく、これから本格的に始動していくところです。皆さんも、豊かな自然と温泉に癒されに鳴子にいらしてくださいね。

南米に恋をして、

南米に生きる私

2回生 鈴木 由美恵

現在、私は、南米旅行を専門とするところある現地旅行会社でフォトグ

ラファーとして働いている。1月から3月は、ボリビアのウユニ塩湖に滞在し、鏡張りの塩湖上でウエディングフォトを撮影している。その他のシーズンは南米各国を飛び回るといふ渡り鳥的な生活をしている。35歳。勿論、幾ばくかの覚悟を持ち、日々生かされ、単身この地で暮らす。大半の友人達は、結婚と出産を経験し、私には未知なる世界で幸せを築いている。そういう幸せもいつかやって来るのだらうと樂觀的に構え、仕事に恋に学びに遊びに、日々、充実している。この地で暮らしていると、幸せの価値観について考えさせられることが多々ある。ある日、アマゾン川流域に住む原住民を撮影する機会があった。彼らはアマゾンの中で自給自足し、家も自分たちで建設する。気が向けば木陰に佇み、徐に笛を奏でる。決まった日課をこなし、祈り、そしてまた新しい一日が訪れる。シンプル且つ外の世界から断ち切った独自の世界を守ることが、彼らにとっての幸せなのだ。再び、自分が何故幸せであるのか問いかける。答えはその人にしか分からないものかもしれない。日々、ここに生かされていることに感謝して。

Staff募集!

同窓会は「たんぼぼ」の編集に限らず慢性的に活動人員が不足しています。同窓会では一緒に同窓会活動を行っていただけのStaffを募集しています。ご興味ご関心のある方は同窓会事務局までご一報ください。一緒に宮城野高校同窓会を充実させていきましょう!

Tampopo Project 2016-2017

たんぼぼチームは会報誌発行のため、たんぼぼに記事を提供していただける方や団体、ご意見ご感想を募集しています。また、同窓会では同窓生の活動の支援を行っています。ご連絡をお待ちしています!

次期総会・懇親会のお知らせ

平成28年度の同窓会総会・懇親会は9月3日(土)です。詳細は同封の案内状をご覧ください。

住所変更等の連絡のお願い

同窓会では安定してご案内を同窓生へお届けするために刊行物等は実家住所へ送付することを基本方針としていますが、宛先不明により同窓会からの案内をお届けできない事象が多発しています。実家の転居、結婚や独立などにより拠点となる住所に大きな変更が生じた際には、総会の案内ハガキが同窓会のWebサイトから確実にご連絡を頂きますようご協力をお願いいたします。

たんぼぼ 15号 2016.7.15発行 5000部

無事2年連続で会報誌を発行することができました。今回は活動報告以外の全ての記事が執行部ではなく一般会員の方にお寄せいただいたものです。それを裏付けるかのように取材で学校を訪れると校長先生のお話などで同窓生の活躍を耳にすることがあります。今後は是非とも多くの皆様に学校だけでなく同窓会の方にも活躍の様子をお寄せいただけたらと思います。

卒業者数(1~19回生)

普通科	2,981
総合学科	1,505
美術科	734
合計	5,220

Tampopo Project Team 編集長:佐藤詔太(10)

平成26年度 宮城県宮城野高等学校同窓会 決算書 (平成26年8月～平成27年7月)

1 収入の部 (単位：円)

項目	予算額	決算額	比較		摘要
			増	減	
会費	1,499,400	1,468,800		30,600	1800×816名
繰越金	3,869,195	3,869,195			前年度繰越金
雑収入	0	0			
合計	5,368,595	5,337,995		30,600	

2 支出の部 (単位：円)

項目	予算額	決算額	比較		摘要
			増	減	
1 総務費	240,000	109,592		130,408	
(1) 会議費	30,000	0		30,000	
(2) 旅費	150,000	106,000		44,000	幹事会交通費
(3) 需用費	20,000	0		20,000	
(4) 慶弔費	30,000	3,592		26,408	会員逝去に伴う弔電、担当者離任に伴う花束代
(5) 雑費	10,000	0		10,000	
2 事業費	1,800,000	1,553,267		246,733	
(1) 総会・懇談会費	450,000	565,486	115,486		総会案内状印刷・発送代(H26・H27分)
(2) 会報発行費	750,000	704,221		45,779	会報「たんぽぽ」印刷・発送代
(3) 在校生支援費	300,000	249,191		50,809	卒業証書ホルダー・入会式しおり
(4) 卒業生企画支援費	100,000	25,568		74,432	受験準備生激励会
(5) 同窓会企画費	30,000	3,216		26,784	文化祭出展費
(6) Webサイト運営費	50,000	5,585		44,415	レンタルサーバー費用
(7) 支部助成費	20,000	0		20,000	
(8) 同窓会名簿管理費	100,000	0		100,000	
(9) 積立費	0	0			
3 予備費	3,328,595	0		3,328,595	
(1) 予備費	3,328,595	0		3,328,595	
合計	5,368,595	1,662,859		3,705,736	

平成26年度 宮城県宮城野高等学校同窓会 特別会計 決算書(平成26年8月～平成27年7月)

(単位：円)

項目	予算額	決算額	比較		摘要
			増	減	
会費	0	0			
繰越金	8,018,380	8,018,380			前年度繰越金
雑収入	0	1,602	1,602		預金利息
合計	8,018,380	8,019,982	1,602		

最近2年間の卒業年度別大学合格者数

()数は既卒生徒

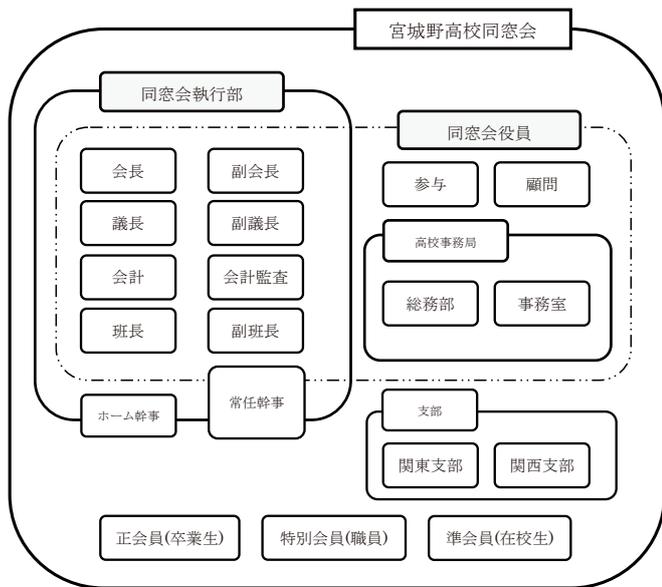
国立大学	H27年度 (19回生)	H26年度 (18回生)
北海道教育大学	2	2
室蘭工業大学	(1)	
北見工業大学	(1)	
弘前大学	1(1)	2
岩手大学	2(2)	3(2)
東北大学	3	3(2)
宮城教育大学	6	9
秋田大学	1	1
山形大学	11(2)	9
福島大学	3(1)	6
筑波大学	4	1
宇都宮大学		1(1)
千葉大学	(1)	1
東京学芸大学	2	1
東京藝術大学		1
横浜国立大学	1	1
新潟大学	2	2
富山大学	1	(1)
信州大学	(1)	
静岡大学	(1)	
広島大学	1	(1)
宮崎大学	1	
国立大学合計	41(11)	43(7)
青森公立大学	1	
岩手県立大学		2
宮城大学	13(1)	12
秋田県立大学		2
秋田公立美術大学	3	2
茨城県立医療大学		1
高崎経済大学	3	2
首都大学東京	1	
新潟県立大学	1	(1)
長岡造形大学	1	1
金沢美術工芸大学	2	
都留文科大学	1	2
静岡県立大学	1	
静岡文化芸術大学	1	
兵庫県立大学	(1)	
尾道市立大学	1	
公立大学合計	29(2)	24(1)

私立大学	H27年度 (19回生)	H26年度 (18回生)
岩手医科大学	2(1)	1
東北学院大学	107(6)	86(4)
東北福祉大学	62(3)	37(2)
東北医科薬科大学	6	4
東北芸術工科大学	24	18
青山学院大学	1	(1)
学習院大学	1	
慶応大学	1(3)	2
国際基督教大学	1	
駒澤大学	2	
上智大学	2	
昭和女子大学	1(1)	
成城大学		3
専修大学		4(1)
大東文化大学		1
多摩美術大学	7	3
中央大学	5(3)	7
東京女子大学	(1)	
東京理科大学		2
東京造形大学	1	1
東京工芸大学	1	1
東京工科大学	1	1
日本大学	6	4
フェリス女子大学		1
女子美術大学	2	1
文教大学		1
法政大学	3(1)	6(3)
武蔵野美術大学	6(1)	
明治学院大学	2	6
明治大学	2(1)	8(2)
立教大学	1	1(3)
早稲田大学	2(1)	1(2)
京都造形芸術大学		5
同志社大学	(1)	
立命館大学	2(1)	1
その他私大	97(16)	71(11)
私立大学合計	349(40)	277(29)

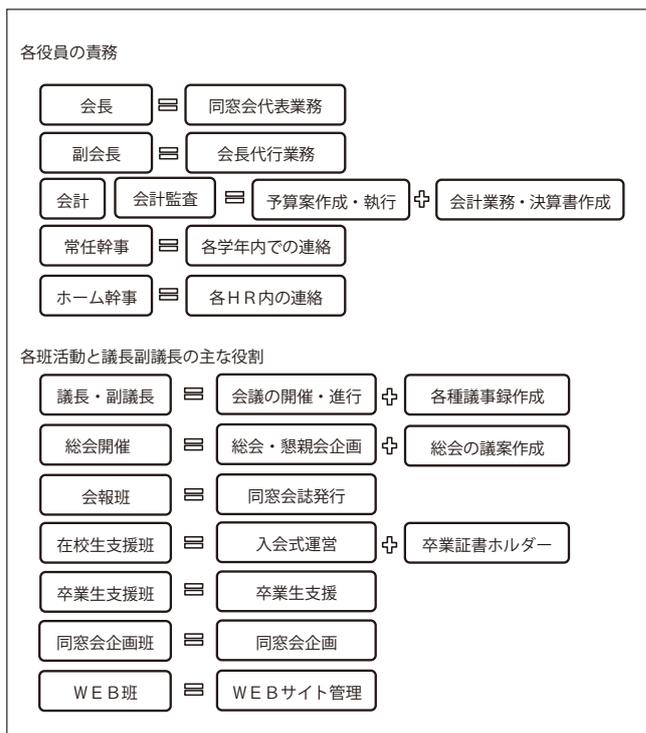
お世話になった先生方

平成27年3月	平成28年3月
退任された先生方	
齋藤 公子 校長先生	熊谷 政直 教頭先生
山本 香織 事務室長	伊藤 康子 さん(事務室)
小野寺 康 先生	
宇佐見 眞 先生	
安倍 和子 先生	
転任された先生方	
田中 康義 教頭先生	津野 裕英 先生
伊藤 伸之 先生	関野 真由美 先生
下村 嘉南 先生	佐藤 重喜 先生
早崎 虎一郎 先生	加藤 聡 先生
渋谷 登志喜 先生	伊藤 佳房 先生
鈴木 春英 先生	吉田 光成 先生
大高 貴代 先生	菊池 智 先生
川原 笑子 先生	大庭 高 さん(事務室)
藤原 恵理子 先生	二階堂 慧 先生
西山(齋藤) 美佳 先生	諸根 聡美 先生
深谷 螢位 先生	

宮城野高校同窓会組織図



宮城野高校同窓会執行部内訳



同窓会の体制

当同窓会では会長や議長等からなる「執行部」を設け、その中に各事業を企画運営する「班」があります。現在班は6つあり、それぞれが班長を中心に活動を行います。班長は役員ですが、班員はホーム幹事や常任幹事に限らず同窓生全員が対象です。どなたでも同窓会活動に携わることができます。現在は人員の不足により、役職関係なく活動を行っていますが、将来的にはそれぞれの班が自立して活動できることを目標としています。

※各回生のホーム幹事・常任幹事の皆様へ

こちらから連絡が取れなくなっている事象が多数発生している状態です。全くメンバーが分からなくなっている回生もあります。メンバーの把握のためにも事務局にご連絡いただきますようご協力をお願いします。

平成28年度 宮城野高校同窓会役員・執行部 (案)

役職	氏名(回生)
会長	庄司 諒(10)
副会長	柴田 康博(1) 笹川 直子(1)
議長	吉澤 和(16)
副議長	吉田 友香(1) 鎌田 航平(18)
会計	西海 奏(1) 堀込 洋子(7)
会計監査	柴田 久美子(2)
総会開催班	宮下 陽菜(12) 若松 千秋(15) 赤津 孟(19)
会報班	佐藤 詔太(10) 川嶋 彩香(14) 近藤 菜保子(15) (阿部琢哉(6))
在校生支援班	清野 菜津江(14) 安藤 雪華子(16) 吉田 瑞生(18)
卒業生支援班	竹内 大空(16) 葛西 佑美(15) 佐藤 美咲(14)
同窓会企画班	岩崎 智大(14) 阿部 伊吹(14) 佐藤 奏太(19)
WEB班	庄司 諒(10) 大場 啓(15) 安住 早紀(15)
参与	伊東 玲子(現校長)
宮城野高校事務局	佐藤 佳奈(総務部 6回生) 藤原 昇(総務部長) 畠山 康江(事務室長)